

2012年

市民の願い実現へ 今年もがんばります

(2011年12月議会)



日本共産党

TPP (環太平洋連携協定) 参加阻止を

- (問) TPPの参加は青梅でも農林業など産業が大打撃を受けるので問題点を広報やホームページで市民に周知を。地元JA、医師会などとの協働の取り組みを
- (答) TPPは国内農業への打撃などさまざまな問題があるので深い議論が必要。
- (問) 国に対してTPPに参加しないよう働きかけを
- (答) 今後の国の動向を注視したい。

保健室と特別支援学級の充実

- (問) 二小、新町小の保健室には非常勤の養護教諭の配置で好評である。他の学校も複数体制に
- (答) 大規模校などでは非常勤の養護教諭の複数配置を検討する。
- (問) 耳鼻科など健康診断時に介助者を
- (答) 介助員を配置しているので現行どおり。
- (問) 独立行政法人日本スポーツ振興センターの給付金は、口座振込みに
- (答) 現行の方法で対応。
- (問) 特別支援学級の宿泊行事に看護師の配置を
- (答) 学校の要望にもとづき配置している。
- (問) 情緒障がい学級へのエアコンの設置は
- (答) 平成23、24年度にすべての学級に設置予定。
- (問) 霞台中学校の特別支援学級のトイレの改修を
- (答) 順次改修する。

市長に予算要望書提出

日本共産党市議団は、12月5日に2012年度予算編成にあたって、106項目の要望を提出しました。

藤野ひろえ市議会報告

No.18

2012年1月

日本共産党青梅市議会議員の連絡先
藤野ひろえ TEL 76-1670 / FAX 76-2024
田中みずほ TEL / FAX 27-2567



田中みずほ議員

一般質問

まちづくりの問題

- (問) 青梅インター周辺開発整備は、今井土地区画整理組合設立準備会が結成されて、農地を市街化区域にして整備することだが、見直しを
- (答) 物流拠点整備を行うことで、地域振興、雇用、税収に結びつく。鹿島建設に事業者も決定した。課題は農振農用地解除で、都と協議している。
- (問) 根ヶ布長淵線はケミコン跡地の西側、青梅総合高校の東側にある道路を幅員12メートルに拡幅する計画。40年も前に決めた不要不急の計画は見直しを
- (答) 多摩地域の優先整備道路であり、都の補助も活用し進める。
- (問) ケミコン跡地に保健所、市民ホール建設、シビックコア計画は慎重に、市民の声をよく聞いて行うよう求める。
- (答) 第6次総合長期計画の中で決める。シビックコア計画については、国の財政が厳しいので、出先機関の統廃合は見通せない。

暮らし・福祉・教育の充実

- (問) 国民健康保険税は値上げしないように
- (答) 値上げはやむを得ない。
- (問) 給付制の奨学金制度の復活、小中学生の通学費の補助充実、中学3年生の修学旅行に補助を
- (答) 給付制奨学金は行革で廃止したので、復活せず融資制度拡充で対応している。通学費の補助については、将来的には検討の必要があると考える。修学旅行の補助については、送迎バス代の補助で対応している。
- (問) 三多摩26市で青梅だけない児童館の建設を
- (答) 児童館はつくらず市民センターなどの既存施設充実で対応する。
- (問) 放射線測定器の市民への貸し出しと、給食食材の検査実施を
- (答) 放射線測定は市職員が対応し、貸し出しはしない。食材の検査は都が検査機器を購入したら、都の活用方針で対応考える。



藤野ひろえ議員

一般質問

昨年、2011年は3月に東日本大震災、福島第1原発事故がおき、生き方や政治のあり方など多くの問題を突きつけられました。直後の4月には市議選もあり、定数減のもとで、日本共産党は藤野ひろえ議員と田中みずほ議員を議会に送っていただきました。そして11月には、青梅市長選挙が戦われ、日本共産党すいせんで住みよい青梅をつくる会から、前市議会議員の斉藤光次さんが立候補し奮闘しました。市長の所信表明演説を受けて、12月議会で行った一般質問の報告を中心にお知らせします。

2011年12月議会

日本共産党



委員会を傍聴して (雑感)

市内6団体で市議会に対し、国保(①保険税、②国庫補助、③都費補助)と介護保険(①要支援の保険給付、②保険料、③職員処遇改善)に関する陳情をし、12月6日福祉文教委員会が開かれ傍聴しました。審査対象は国保③、介護①のみでいずれも不採択。他は「市議会申し合わせ事項」に定める議長認定で、陳情書の写しの参考配布のみ。「申し合わせ」を確認すると、参考配布は「過去に結論を出し、その後、特段の状況の変化がない」とされています。国保の国庫補助の陳情は、14年半も前の結論でしかも不採択。その後の制度と状況の大きな変化を思うと、調査も検討もせずに認定したとしか思えません。市民の声に真摯に応える議員を選びたいものです。

宮田和志 (西多摩社保協)

何でも相談、法律相談
お気軽にご連絡を。



放射線測定器貸し出し等
ご要望も党市議団へ。

ウメ輪紋ウイルスの早期解決を

梅ウイルスの感染問題の早期解決を!

市の報告では23年度、10,891圃地の46,548本を調査し、3,046本の感染が確認されたとのこと。市内では22年度に12,477本が処分され、今後さらに2年間で10,800本が処分されるとのことです。昨年12月23日に梅郷地域で説明会もあり、1月13日に梅郷市民センター内に補償交渉の現地事務所が設置されました。5月までに補償交渉を終了し、12月までに廃棄処分を完了させる予定とのこと。今後14人のメンバーで検討委員会を作り、「梅の里再生計画」を策定していくこととなります。梅郷地域では現在アンケート調査が行われています。梅ウイルス発生から既に3年が経過し、地元では対策の遅れに不満の声が出ています。日本共産党は対策委員会を早期に発足させ、補償は住民の納得合意の上に進め、住民の声を尊重した「梅の里再生計画」をつくるよう求めます。

特徴的な議案や陳情に対する賛否状況(敬称略)

賛成○ 反対×

件名	市民	公明	改フ	共産	みどり	改革
平成23年度 青梅市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○
平成23年度 病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○
青梅市学童保育所条例の一部を 改正する条例(延長料金増)	○	○	○	×	○	○
青梅市体育施設条例の一部を 改正する条例(庭球場使用料値上げ)	○	○	○	×	○	○
青梅市一般職の職員の給与に関 する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○
国民健康保険に関する陳情	×	×	×	○	×	×
介護保険の改善に関する陳情	×	×	×	○	○	×

放射能汚染対策

市が測定器2台購入、今後市民への貸し出し、
学校給食食材検査を!

12月市議会全員協議会で報告があり、市が10月から11月に測定した中で、国の除染の目安としている地上高5センチで、0.23μSv/h(マイクロシーベルト/毎時)を越すところが、小学校の側溝や雨どいの下など5箇所にあったことが分かりました。市は簡易な除染を行い、適切な場所に埋め一時保管していることを明らかにしました。(詳細は広報青梅1/15号に)現在都から借用しているものを使っていますが、市独自に二台購入(補正予算で122万円)することになりました。

日本共産党は市民の不安に答えるためにも市民への測定器貸し出しを行い、継続的に市内の状況を把握することや、学校給食の食材の検査も求めます。



放射線測定器貸し出し自治体(三多摩)

瑞穂町 羽村市 あきる野市 武蔵野市 府中市
小金井市 小平市 東大和市

学校給食放射性物質検査実施自治体(三多摩)

立川市 武蔵野市 三鷹市 府中市 調布市
小金井市 小平市 東村山市 国分寺市 国立市
狛江市 東大和市 武蔵村山市 稲城市

市民 — 市民クラブ(鴨井、市川、清水、山崎、荒井、久保、小山、山本、島田、下田、浜中)

公明 — 公明党(山内、鴻井、野島、結城、榎戸)

改フ — 改革フォーラム(本多、工藤、榎澤、高橋)

共産 — 共産党(田中、藤野)

みどり — みどりのオンブズマン(ひだ)

改革 — (大勢待)